



やくし なりひと 薬師 成人 さん (45歳)
下堀町在住。母と妻とともに肥育牛と露地園芸の複合経営に取り組む。現在、肥育牛110頭を飼育し、露地園芸では甘藷、加工大根、ごぼうを生産している。

- 主な受賞歴
- 平成29年 第11回全国和牛能力共進会 第9区 優等賞1席農林水産大臣賞
 - 令和2・3年 鹿児島県枝肉共進会 グランドチャンピオン（2連覇）

薬師さん 1年を通じて暑さ、寒さ対策をはじめとして牛にストレスを与えない環境づくりを心掛けています。人が来ても牛が騒ぐことはありません。また、夏場であればハエを1匹でも減らすような努力をするなど、衛生面においても細かいことに気を付けて取り組んでいます。

若い世代へのメッセージ

市長 畜産に限らず農業後継者や就業人口が減少しておりますが、そのような中でも最近若い農家の方や女性就農者を見掛けることも増え、大変心強く思っています。今後畜産を始めようと思っている方や、現在一生懸命取り組んでいらっしゃる方にメッセージをいただけますか。

薬師さん 私が畜産を始めて26年になります。その頃より20代、30代で畜産をされている方が増えた要因として、国や県、市からの支援やサポートがあり、若い人たちが取り組みやすい環境が整っていることが挙げられます。そのような中で、良い農場や良い畜産農家の元へ飛び込んでいき、情報を得るといふ姿勢を持ち、地域全体で畜産を盛り上げるといふ目標を持ってもらいたいと思っています。

加できれば一番いいのかなと思います。
市長 鹿屋から1頭でも多くの牛が全共に出品され、連覇へ向けて貢献ができればいいですね。薬師さんは全共に向けて4頭の牛を育てていらっしゃるようですが、順調でしょうか。

薬師さん 4頭とも前回の宮城大会よりも順調にきています。しかし、10月まで気が抜けないため、1日1日大事に観察しながら、油断をせず仕上げていきたいと思っています。
市長 ぜひ全国の舞台に出場できることをご期待申し上げます。最後になりますが、薬師さんのお子さんもうちも畜産の学校を出られて一生懸命勉強をされているとお聞きしています。今後の畜産経営においてどのような夢を持たれていますか。

薬師さん 今の経営状況を大きく変えることは考えていません。子どもたちについても、もちろん強制・強要はできませんが、現在大学に在籍している長男が跡を継ぎたいと言ってくれるのであれば自分の持つ技術や畜産のやり方を教えながら、牛肉の加工・販売までやっていけるとうれしいです。

対談を終えて

市長 本市の畜産は、飼養頭数及び出荷頭数が全国でもトップクラスにあり、本市農業産出額の75%を占め、県内屈指の畜産地帯を形成しております。高齢化や担い手不足など、経営体数は減少していますが、経営者

市長 個々の経営もそうですが、畜産のまちとして、全体でレベルを上げていくためには情報共有や仲間づくりが大事だと思います。

複合経営について

市長 これだけの規模で肥育経営と露地園芸の複合経営をされている方は珍しいと思うのですが、どのような思い・方針で取り組まれているのですか。

薬師さん 本音を言えば、畜産だけ取り組めたほうが体力的にも楽です。しかし、飼料・資材費の高騰や新型コロナウイルスの影響など様々な要因により、資金面が圧迫されることがあるので、1年間波のない経営をするために、父の代から変わらず畜産と露地園芸の両方を行っています。

市長 当然、価格の変化があるわけですし、資材を含めコストもかかりますので、経営していくうえでリスク分散という意味もあるでしょうし、機械を使い回せるということもあるのではないのでしょうか。

薬師さん 機械もそうですし、堆肥を有機物として畑作に活用できること、ご努力などもあり、規模拡大化が進展し、飼養頭数は増加傾向にあります。また、国産和牛肉の輸出も年々増加し、うち鹿児島県は全国の4割を占めるなど鹿児島黒牛ブランドの認知度も向上しております。
本市におきましては、肉用牛生産・経営基盤の強化を図るため、様々な支援メニューを準備し、関係者と一体となって「日本一和牛のふるさと“かのや”」をキャッチフレーズに畜産振興を図っているところです。

全共の開催まで10か月を切りました。全共に出場するには、市共進会、郡予選、そして県の最終予選を勝ち抜いた24頭だけしか本県代表牛として出場できず、厳しく狭き門となります（全国で459頭が出場）。市内の生産者の日頃の努力の成果が報われることを期待し、また本市から出品される牛が「鹿児島県全共連覇」に大きく貢献できますようお願いしております。

本日はありがとうございました。



本市在住の本村実希さんが考案した、第12回全共鹿児島大会マスコットキャラクター「かごうママ」



とも大きな理由です。

鹿児島開催の全共に向けて

市長 さて、10月には鹿児島で全共が開催されます。全国の舞台に立つには市や郡、県などの予選を突破しなければならず、大変狭き門だと思いますが、市内では薬師さんの他にも2名の方が全共に向けて出品候補牛を育てていらっしゃいます。全共に向けての意気込みを聞かせてください。

薬師さん 地元開催ということですが非でもその舞台に立ちたいという思いも強いのですが、鹿屋地区にはベテランの方々がいらっしゃる中で、3人とも鹿児島県の代表として参

Voice 全国和牛能力共進会肉牛の部候補者



有限会社 うしの中山
飯山 真志 専務

5年に1度の大イベントですので、出場できるように頑張りたいと思っています。現在は、特に健康管理に気を付けており、朝昼晩確認を行っているところです。10月までしっかり牛を育て上げて、能力を引き出して本選に出場したいと思っています。

第12回 全国和牛能力共進会
和牛フェス in かがしま 2022
～和っ!と驚く美味さが、牛っ!と詰まった和牛の魅力を鹿児島から～

日時 **10月6日(木)～10日(祝)**

場所 **種牛の部：霧島市牧園町
肉牛の部：南九州市知覧町**

